

図書館だより

No.54

令和5年10月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館
本館 04-2964-2415
西武 04-2932-2411
金子 04-2936-1811
藤沢 04-2966-8080

図書館ホームページ <https://lib.city.irusa.saitama.jp/>

ティーンズコーナー

本館や各分館に、ティーンズコーナーがあります。

もう子どもではないけれど、大人でもない。そんな中学生、高校生向けの本を集めたコーナーです。中学生、高校生の方はもちろん、ちょっと難しい本を読みたい小学生の方、今のティーンズが何を读んでいるか気になる大人の方も、ぜひ利用してみてくださいね！

進学先や職業のことなど、将来のことを考えたり、調べたりするときに役立つ本が、置いてあります。

左側は分類番号順（0番台から900番台）に本が並んでいます。右側に物語の本が作者の五十音順に並んでいます。



ティーンズの本には、背表紙の下の方にオレンジ色のラベルが貼られています。

新書や文庫本などが並ぶ本棚もあります。

ティーンズコーナー（本館） 児童コーナーの一角にあります！

“YA”って？

Young Adult(ヤングアダルト)の略称。中学生や高校生などの10代のみなさんのことを図書館ではヤングアダルト、YAとも呼んでいます。



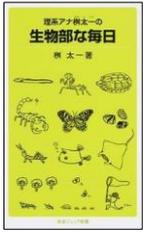
YAフリーボード（藤沢分館）

クイズの掲示やイラストなどの募集を行っています。2ヶ月ごとに内容が変わります。

本館ティーンズコーナーには2000冊以上の本があります。小説や新書、実用書など様々なジャンルの本が並んでいます。わかりやすい入門書や10代に向けて書かれた実用書も多く置かれています。ぜひ読んでみてください！



ティーンズコーナーの本の一部を紹介します。



『理系アナ榎太一の
生物部な毎日』
榎太一／著
岩波書店 《460》



『ぼくはイエローでホワイト
で、ちょっとブルー』
プレイティみかこ／著
新潮社 《376.31/ブ》



『マンガでわかる
ビブリオバトルに挑戦!』
谷口忠大／監修・マンガ原案
沢音千尋／マンガ 粕谷亮美／文
さ・え・ら書房 《019》

埼玉県の高校司書が選んだイチオシ本も置いてあります。

最新のイチオシ本から2冊紹介します。



『図書室のはこぶね』
名取佐和子／著
実業之日本社
《913.6/ナトリ》



『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂冬馬／著
早川書房
《913.6/アイサ》

本が貸出中の時は
予約することができます。



10月27日(金)～11月9日(木)は『読書週間』です。

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、開催されたのが始まりです。
(主催：読書推進運動協議会)

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの どんぐり(本館)・かざぐるま(西武分館)・おはなし^{まどか}円(西武分館)・茶の花(金子分館)・トトロ(藤沢分館)です。
各グループより、最新情報をお届けします。

どんぐり 「冬のおたのしみ会」の出し物の作製が着々と進行中です。どんぐりの宝物になるように。そして来ていただく皆の心に残るように。楽しくて、笑顔になれるように。皆で頑張ります。ぜひ遊びに来てください。

かざぐるま 「ちょっとこわいおはなし会」を終え、秋に向けてかざぐるまそれぞれのグループが通常の活動を充実させようと頑張っているところです。ぜひ西武分館へおでかけください。

おはなし^{まどか}円 毎月第1土曜日、10時から西武分館で行っています。今までに、「ふうふうぱたぱた」「とりのみじい」「ふしぎなたいこ」などの日本の昔話を語りました。「豆と炭とわら」のお話では、空豆を持ってきて、笑いすぎて裂けたおなかを縫ってもらった跡を見せました。そのほかに、夏らしい花火や蝉の絵本と、蝉の抜けがらも見て触ってもらいました。次はどんなお話かな。おたのしみに。

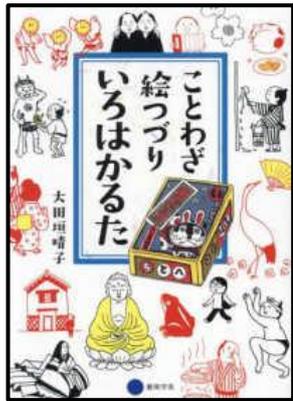
茶の花 読み聞かせを通して子ども達とのやり取りを楽しんでいます。一緒に絵本・紙芝居の読み聞かせをしませんか。興味のある方は、金子分館までご連絡ください。

トトロ 「夏のおたのしみ会」に来てくださった皆さん、楽しんでいただけて嬉しかったです。来られなかった皆さん、次は「冬のおたのしみ会」にぜひおいでください。絶賛準備中です。たくさんの方に笑顔の時間を過ごしていただけるようトトロ一同頑張ります。待ってますよ～。



大人のためのBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『ことわざ絵つづりいろはかるた』 大田垣 晴子／著

京都芸術大学東北芸術工科大学出版局藝術学舎 <388. 81/オ>

よく耳にするものからあまり馴染みのないものまで、江戸期のいろはかるたで使われていたことわざを中心に、約150のことわざがいろは歌の頭文字を取りながら紹介されています。イラストが多く、マンガ風に書かれているので、誰でも気軽に読むことができる1冊です。「聞いたことはあるけれど、意味はよく知らない」「よく聞くけれど、使い方は正しいのか」という方も多いのではないのでしょうか。学び直し・新たな知識として為になること間違いなしです。

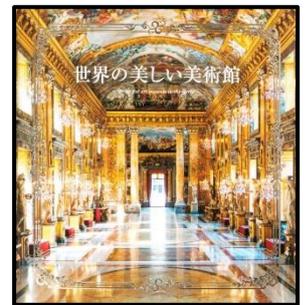
『世界の美しい美術館』

パイインターナショナル／編著 パイインターナショナル <526. 7/セ>

ヴェルサイユ宮殿美術館やルーヴル美術館など豪華で洗練された美術館から、三鷹の森ジブリ美術館やフリーダ・カーロ美術館のような唯一無二の空間を持つ美術館まで、世界中の美しい美術館を84館掲載。

15センチほどの手に取りやすいサイズながら、全ページに余すことなく写真が載っており見ごたえ抜群です。

まるで世界一周の芸術の旅に出かけているような気分になれる1冊。



『感じて描く漢字アート』 関 紫芳／著 あかり舎 <728. 4/セ>

筆で文字を描くのは難しいと感じませんか。しかし、筆で文字を描くということは様々な表現ができるのです。太さや細さ、墨の濃淡によって同じ文字でも全く違う印象になります。この本では、筆に慣れることから始め、どのように描けばバランス良く魅力的な文字になるのか、多くの文字を例にして紹介されています。実際に手に取り、自分流の味のある漢字アートを描いてみてはいかがでしょうか。

『キッチン・セラピー』 宇野 碧／著 講談社 <913. 6/ウノア>

今、何が食べたいですか？「何でもいい」ではなくて本当に今、食べたいものはありませんか？一口食べれば体が軽くなり、二口食べれば自然と頬が緩み、もう一口、さらにもう一口と手が出てしまい、幸福で身体が満たされてしまう。そんな食べ物は、あなたにとって何ですか？

悩みを抱えた人たちが町田診療所のモネを訪ね、食べ物を通して自分自身が求めていることに気づいていく、不思議な物語です。



新着資料もたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！
新刊だけでなく、寄贈でいただいた資料なども並びます。



こども向けBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『カップねこ』

塚本 やすし/作・装丁 ニコモ 《E/に13》

カップねこはおゆをいれて3ぷんたつと、できあがり。そしてまた3ぷんたつと、ちいさくなってもとのカップのなかにもどっていきます。

3ぷんまでなくて1ぷんでふたをあけてみたり、10ぷんまでみたりするとカップねこはどうなっているのかな？



『ぎょ！おどろきのしんかいぎょ』

藤原 義弘/監修 JAMSTECほか/写真 ひさかたチャイルド 《481》

うみのとってもふかいところに「しんかい」はあります。この本ではそんなふかい「しんかい」にいるいきものについて、1ページごとにクイズとその答えをのせています。きれいな写真でしかいされる「しんかいぎょ」たちを見ていると、美しい「しんかい」の世界にひきこまれてしまうことまちがいなしです。



『ラベンダーとソプラノ』

額賀 滯/作 いつか/絵 岩崎書店 《913/ぬかが》

「今年こそ金賞を」の重庄と厳しい練習で崩壊寸前の合唱クラブ。小6の真子は、夢見ていた理想の自分と現実とのギャップに、だんだん思い悩むようになりますが…。はたして合唱クラブは不協和音から美しいハーモニーを響かせることができるのでしょうか。学校行事やクラブ活動で悩んでいる人は、真子と一緒に答えを見つけてみてください。

令和5年度埼玉・夏休みすいせん図書的小学5・6年生向けの本として選ばれました。まだ読んでいない人はぜひ読んでみてください。



ティーンズ向け

『図解でわかる14歳から知る日本人の宗教と文化』

山折 哲雄/監修 インフォビジュアル研究所/著 大角 修/著
太田出版 《Y 162. 1/ズ》

最新の遺伝子解析で分かったデータでは、日本人の祖先・縄文人は南の海からやってきたとのことです。この本はそんな最新の遺伝子解析研究で分かった情報や弥生人の祖先崇拝、日本神話の世界など図説入りで分かりやすく解説しています。日本独自の宗教文化について改めて知ることで、私たち日本人がどういったルーツをたどって現在にいたるのか、学び直してみませんか。

